

立志

志をもち
自ら学び
ともに高め合い
逞しく生き抜く



令和6年3月13日(水)発行 校長 川崎 朗

有中のフィナーレを飾る感動の卒業式でした! !

3月8日(金)に本校62年の歴史の最後を飾る第62回卒業証書授与式を開催しました。当日は、澄み切ったような空気の中、穏やかな春の日差しに包まれていました。まるで、卒業生の未来を祝福するかのような感じさえしました。

67名の卒業生を祝福するために、在校生、保護者、そしてたくさんの地域の皆様にもご臨席いただき、厳粛な中にもあたたかな空気の中で卒業証書授与式が始まりました。

卒業証書授与の際には、卒業生一人一人が思いを込めて「はい」という返事をしていました。この返事には、呼名をした担任の先生への思いはもちろん、これまで15年間、大切に育ててくれた保護者への感謝の思い、同級生や下級生、先生への惜別の思いなど、いろいろな思いを込めた言葉であったと思います。

在校生を代表して生徒会長の田中翔大さんが送辞を述べ、卒業生への感謝とこれからの人生へのエールを贈ってくれました。そして卒業生代表の答辞。卒業生を代表して白濱和佳子さんが、これまで中学校3年間の思い出、共に過ごした同級生への思い、下級生へのエール、これまで指導をしてもらった先生への感謝、そして、これまで深い愛情で育ててくれた保護者への思いを、涙を流しながら一生懸命に述べてくれました。聴いていた全員が胸に迫るすばらしい答辞だったと思います。そして、昨年度までコロナ禍の中、行われていなかった卒業式の歌を本年度は実施しました。最初に、卒業生による「揚げば尊し」アカペラでの三部合唱で立派に歌いきってくれました。そして全校生徒による「旅立ちの日に」。1番は在校生、2番は卒業生、そして最後を全校生徒で歌い上げ、体育館に響き渡る美しい合唱でした。閉式後には、卒業生による卒業合唱が行われました。1曲目は、合唱コンクールで学年全体で歌った「エール」を見事に歌いきりました。そして2曲目、中学校で歌う最後の合唱は「正解」です。卒業生一人一人の中学校生活の思い出、これから未来に進む強い決心などが込められていた感動的な合唱でした。

有中最後の卒業式、卒業生はもちろん、在校生や教職員、保護者や地域の皆様にとっても「今年で有明中学校がなくなるのか」という一抹の寂しさを禁じ得ないものになったと思います。しかし、これは一つの時代の終わりであると同時に、新しい始まりでもあります。これまで有明中学校で培われてきた思いや受け継がれてきた伝統や文化は、過去から現在、そして未来に受け継がれ、新しい白石中学校に繋がっていきます。そういう意味で1・2年生が伝統を受け継ぎながら新しい学校の文化を創造してくれることを楽しみにしています。有明中学校の62年間の思いのこもった感動の卒業式で、卒業生はもちろん、在校生、教職員、保護者の皆様一人一人の心に残るものであったと思います。この思い出を胸に、本校を巣立った卒業生の皆さんのこれからの未来が光り輝くものになることを心から祈念しています。



＜上段は左から卒業生入場、卒業証書授与、式辞 下段は左から答辞、卒業合唱の様子＞

さあ有明中学校のバトンがアンカーに託されました!!

3年生が卒業し、今週から1年生と2年生だけの有明中学校となりました。いよいよ2年生がリーダーとして学校を引っ張っていく立場になります。1年生も、4月からは上級生として新しく入ってくる1年生の模範とならなければなりません。

皆さんたちに、有明中学校のバトンが託されました。そして皆さんが受け取ったバトンは、有明中学校としてのアンカーとしてのバトンであると同時に、4月から始まる新しい白石中学校へと繋げるバトンでもあります。有明中学校は23日(土)に閉校式を迎え、3月31日をもってなくなります。残りわずかではありますが、1・2年生の皆さんたちは、有明中学校のアンカーなのです。

先週の卒業式まで本校は、9897名の卒業生を輩出しました。そして3月31日には、1・2年生126名が有明中学校を巣立つこととなります。有明中学校62年間の歴史の中で、10023名の生徒が有中に在籍したこととなります。1・2年生は最後の有中生として、有明中学校としての歴史を完結させてください。残りわずかの学校生活ですが、最後まで有中生としての誇りをもって、「有中魂」で頑張ってください。

これまで、有中の伝統や文化を創り続けた多くの先輩方。また、学校を見守り、支えていただいたたくさんの保護者や地域の皆様。それらたくさんの方々のおかげでこれまで有明中学校は続いてきました。

いよいよファイナルを迎えます。有明中学校を支えていただいた全ての人に感謝の思いを伝えるとともに「有明中学校があっただけよかった」「有明中学校は最後まで素晴らしい学校だった」と思っただけのように、私たちができることを精一杯頑張っていきたいと思います。有明中学校は3月末で閉校しますが、これから先も皆さんの心の中で、「有明中学校に通って、通わせて、勤めてよかった」と思う学校であり続
てほしいと思います。

「笑顔さわやか、ひとみ輝く有中生」。私たちはこの言葉を受け、みんながさわやかな笑顔と輝くひとみをもちながら、最後まで学校生活を送っていきたくと思っています。そして、それを新し白石中学校の伝統や文化の礎にしてほしいと思っています。最後までよろしくお願いします。